

ようじえんだより 2017年度9月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目 253 番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

9月主題『のびのびと』

主題聖句：「平和な人には未来がある。」詩編 37 編 37 節

☆ 0～2歳児：保育者を通してまわりの人や友だちのために祈る経験をする。空の雲や風を感じ、移りゆく季節を感じる。手伝ってもらいながら、簡単な身のまわりのことをしようとする。自分から友だちや保育者に思いを伝え、遊びにかかわろうとする。

☆ 3～5歳児：平和を考え、願い、共に祈り、平和に過ごす。一日の生活リズムを取り戻す。夏の経験を通して、遊びが広がる。友だちと身体を動かす遊びを楽しむ。

「のびのび」とできない現実

何度かお話したことがあります。十日町の子どもたちは本当にのびのびと、子どもらしく育っていると強く感じています。十日町幼稚園の子どもたちだけでなく、姉妹園の山本愛泉保育園の子どもたちも、十日町小学校の子どもたちの様子を見ている、裏表のない子どもらしい純粋さと天真爛漫な様子を感じます。理由はまだよくわかりませんが、厳しい自然環境にもかかわらず、のんびりとした風土(過度な受験競争などがないという意味)と、兄弟姉妹が比較的多く、親だけでなくおじいちゃんおばあちゃんやご近所の方々、地域の子供会など、いろんなチャンネルの人間関係をもつことができることと関係しているような気がしています。

都会では地域の子供会などなく、放課後に子どもだけで群れて遊ぶことが減ってきているといわれます。「親子カプセル」と称されるように、外からはまるでわからない家族だけで過ごし、あるいは学校やお稽古事などで限られた人間関係の中だけにいます。しかもそこには「できたか、できていないか」と

いう評価が常に存在します。限られた空間にいて、いつも何かしらの評価ばかりを受けていると、どんな人でものびのびとしてなっていられません。ドキドキ、オドオドし続け、ため息交じりの生活に終始してしまいそうです。

それでも「のびのび」と生きていくために

息が詰まるような生活をしていると身体に不調が出てきます。睡眠や食事や運動は、大人や子供を問わず健康を保つ指標になりますが、質の良い睡眠や喜びのある食卓、身体を動かす喜びを得る根底には、のびのびと喜んで過ごすことが何よりも大切です。そのためには、めんどくさいこともありますが、多様な人間関係の中で生きていくことが大切だと思います。そしてそこに必要以上に「評価」を持ち込まないことです。

「できるから素晴らしい」ではなく、失敗しても思いを受け止めてもらえたり、ユーモアがあり、何より「あなたが大切だよ」という空間で、人は人として、のびのびと育っていけるのだと思います。

園長：久保田愛策

年間主題『愛されて育つ』

主題聖句：あなたがたは神に愛されている子どもです
新約聖書 エフェソの信徒への手紙 5章1節